

グローバル・リンク株式会社

卸売業

代表取締役社長 富樫 浩司 (とがし こうじ)

Profile > 昭和35年7月生まれ。57歳。大手自動車メーカー、造船メーカーでの勤務を経て、平成23年に同社設立。一貫して“ものづくり”にこだわる。新エネルギー技術の第一人者として知られ、常に国内外から注目される存在である。

太陽光発電と蓄電池で復興の助けに

弊社を設立したのは、東日本大震災が起こった1カ月後、平成23年4月です。前職で太陽光発電と蓄電システムの研究開発を進めていた私は、微力ながら、当時電力不足に陥っていた日本の復興の助けになりたいと考え、会社を設立。自前の特許を駆使し、すぐに小型太陽光発電と蓄電池を組み合わせた独自のシステム「G-SOLAR」の開発、製品化を実現しました。

その後、「電気が供給されないので、手術や治療ができない」と嘆く被災地の病院の現状を知った私は、宮城県にある国立病院に「G-SOLAR」を寄贈したのです。このことがマスコミに大きく取り上げられ、それを契機に国内外から「G-SOLAR」への問い合わせが殺到するようになりました。以来、太陽光を主軸に、「世の中にないものをつくりだす」を経営理念として、より生産性の高い、環境に左右されない発電システムの研究、開発を続けてきました。

注目の電磁ロータリー発電とは

現在弊社の中核となってきたのが、地熱バイナリー発電、風力発電、医療廃棄物から重油を取り出し発電する循環型ダブル発電などです。これらの新エネルギーの開発を全て自社で行っている点が弊社の強みで、この技術を有している企業は決して多くはありません。

太陽光、風力、地熱、循環型発電など、さまざまな新エネルギー技術を独自に研究、開発しています。注目の電磁ロータリー発電で、エネルギーを「つくる」時代へと変革しませんか。

さらに、国内外から注目を集める電磁ロータリー発電の開発も終わり、平成29年12月から稼働。永久磁石を利用したこの発電機は、一般電源、化石燃料を使った動力源、自然エネルギーのどれも必要とせず、磁力を使って永久的に電力を生み出すという、まさに画期的な発電システムです。今回特にこだわったのは小型化。室内に置ける大きさを追求し、静音性にも優れているので、大手コンビニエンスストアや病院を中心に、すでに多くの発注をいただいています。

電力供給会社を目指す

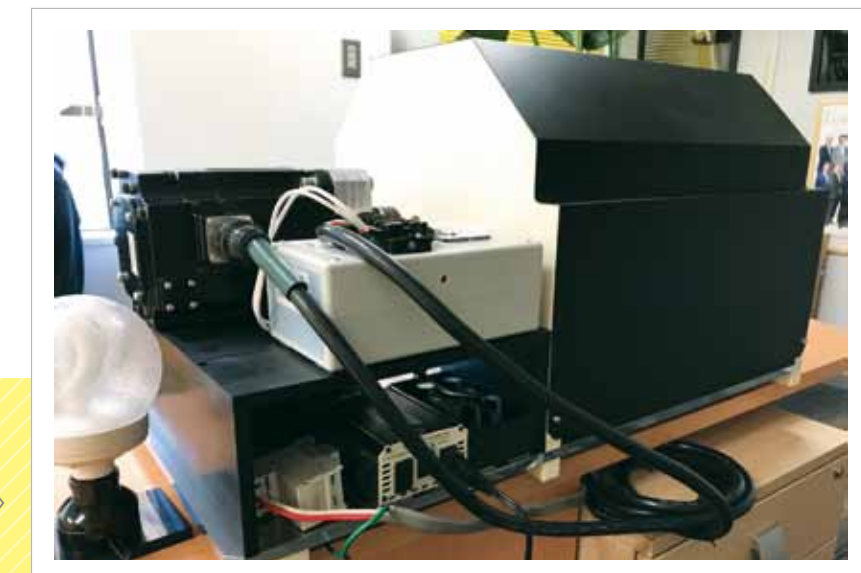
次世代エネルギーの研究、開発を続けている私にとって、目指すは弊社が「電力の供給会社」となることです。電磁ロータリーを導入していただければ、何の資源も使わずに永久的に電気をつくり出すことができるのですから、弊社が「電力の供給会社」になることも夢ではありません。産業界だけでなく、各家庭

への電力供給も可能となりますし、自動車に搭載すれば充電不要な電気自動車をつくることもできます。

さらに、エネルギー分野にAIを組み合わせるという、今までにない取組も始まっています。共同研究パートナーである東京大学生産技術研究所が開発したのが、AIを使って過剰な光熱費を最適化してくれる「Arcrobo」という新技術です。

弊社は、蓄電池を導入いただいたお客様にこの「Arcrobo」の無償提供を行っています。人工知能により無駄な光熱費を平均15%削減できるため、その削減分から弊社に利益を還元していただいています。

これまで一貫して私は、「世にないものをつくる」ことに全力を注いできました。今までも、そして未来でも、電気を使わない社会、産業は存在しません。さまざまな協力者と手を組みながら、今後もエネルギー分野における新しい革命に挑戦していきます。



グローバル・リンク株式会社 TSR企業コード: 90-210163-3
所在地: 〒100-6512 東京都千代田区丸の内1-5-1新丸の内ビルディング12F
TEL: 03-6269-9660 URL: <http://globalink.co.jp>
設立: 平成23年4月 事業内容: 新エネルギーの開発、販売

LET'S MAKE THE FUTURE

高い志と独自技術で 電力供給会社に